

本部会議での主な発言要旨

参考資料

キーワード	発言内容	発言者
アイデンティティ	名古屋は、パブリシティが下手なため、実力がほとんど知られていない。 名古屋の教育を全国区にすれば 、名古屋に縁ができる若い人たちが増える。(第1回本部会議)	浅井本部員
	芸術的なセンターとしての愛知・名古屋が、人々の人生、幸せとも繋がっていく。 名古屋に縁があれば、幸福が手に入る というようなイメージを是非発信してほしい。(第1回本部会議)	
	まちを歩いただけで何かアイデアが浮かんだり、人生豊かだったり、楽しかったりするような 空間や時間を名古屋・愛知が発信 すべき。(第1回本部会議)	
	中京都のエリアに住むこと、観光やインバウンドを中京都のエリアでやることに関して、名古屋は住みやすく、有望な色濃い物産やコンテンツがありながらも外に打ち出せていないと思う。まずは、 この地域のブランディング をやるのがいいと思う。(第3回本部会議)	永谷本部員
	東京にいと名古屋・愛知からのメッセージが皆無に近い。 中京都の目指すべきシンボリックなもの を、いくつか立ち上げて、色々と組み合わせながら考えていけばいいと思う。(第4回本部会議)	浅井本部員
	愛知県の持つ 歴史や文化、伝統産業に養われた技術を世界に発信 することができれば、魅力ある都市圏のアピールになる。(第4回本部会議)	鶴田本部員
	この地域は、これだけ日本に対して貢献をしている地域なのに、非常に印象が薄い。アジアから見た日本の魅力としては「食」もあるので、 名古屋めしも押し出しつつ、「食」を集めた大きなイベント をしてもいいのではないか。(第4回本部会議)	永谷本部員
この地域の特色や アイデンティティを明確にアピール し、目標を提示しなければ、構想の中身が伴ってこない。世界にアピールする際のポイントは、 この地域の豊かさを象徴する製造業の力と技術力の高さ 。これを抜きにして、この地域の目標設定や将来の発展は、基本的にはないだろう。(第4回本部会議)	浜本本部員	
成長戦略	政府は、成長戦略を担うのは大都市としている。名古屋圏が真のエンジンであると言われる一方で、名古屋は都市魅力のランキングの対象にすらならない。 名古屋の魅力をどのように訴えていくか だ。(第1回本部会議)	奥野本部員
	インバウンドの促進 に向け、トップセールスや海外メディア向けの情報発信強化など、県・市一体となって戦略を立て、リードしていただきたい。(第1回本部会議)	木村本部員
	新たなサービスと雇用を育む観光の振興が必要。中小企業の持つ 機敏性や、個性的できめ細かなサービス活動 は、日本の文化と伝統とともに、大いに喜んでいただけたらと思っている。(第1回本部会議)	鶴田本部員
	国内市場の縮小が懸念される中、中国等アジアからの インバウンド促進による内需拡大 が非常に重要で、 魅力ある都心づくり とあわせて、 観光振興 に今まで以上にしっかりと体制をつくり、取り組んでほしい。(第2回本部会議)	木村本部員
文化・歴史・芸術	歴史や文化には、 核となる拠点 が必要。歴史の史実に基づくものでないと、他には真似のできない「本物の」魅力は生まれない。(第1回本部会議)	安田本部員
	人が集まるということであれば、 金シャチ横丁 が一番のポイントになる。独自性のある、例えば 芝居小屋 をつくって、全国の地芝居の団体を呼んでくるといい。それぞれの 地元 の特色をよく捉えて、どう 伸ばしていくか 、どう 活用していくか が大事。(第2回本部会議)	
	名古屋も昔から 芸どころ として有名で、これを 世界にアピール する。市民も参加でき、 文化の香り がする中京都とすることもひとつの考えである。(第2回本部会議)	鶴田本部員
	都市は可能性 だと若いときに思っていた。何者でもない少年、青年が、いつの日か何か自分の志を果たしたい、そういう思いで都市を目指す。日本だけではなく、パリもニューヨークもロンドンもそれぞれそんな人たちが集まって、 文芸・文化を創ってきた 。(第2回本部会議)	浅井本部員
観光・イベント	中部広域圏については 昇龍道 に注目している。鳥羽から能登半島まで、 ひとつの広域圏 があるというイメージが、少しずつ出来ていくような気がする。これをきっかけに、いろんな取り組みが始まればよいと思っている。(第3回本部会議)	奥野本部員
	長期の目標として、名古屋や中京都で オリンピックを開催 することを考えてもいいと思う。計画は25年や50年のスパンで考えるものであり、いずれはアジアにまた順番が回ってくる。(第4回本部会議)	井沢本部員
	魅力創造・発信の観点からも、次世代に向けたまちづくりや働く環境の整備をしていく必要があるし、 誰もが知っているイベントを開催 することも今後重要ではないか。(第4回本部会議)	永谷本部員